

別表

業務成績評定採点表（一般調査・測量業務、コンサルタント的業務、設計業務）

採点項目	採点の視点	採点区分 (注) 1		採点度 の係数	採点の基準	業務評定					技術者評定										
		一般調査	コンサルタント			設計	監督職員		担当課長等		検査職員		管理技術者		照査技術者						
							採点度	配点①	採点度	配点②	採点度	配点③	重み	配点	配点	重み	配点	配点	重み		
提案力・改善力	業務特性、関連情報の整理・把握	○	○	○	AA 1.0 随時、発注者側へ提供できるような自主的に整理・把握されていた。	○	○	○	○												
	業務遂行段階における提案	○	○	○	AA 1.0 日常的に多面的な視点に立った幅広い検討が行われ、随時自主的な改善策の提案等が行われた。	○	○	○	○												
	検討課題の整理・把握	○	○	○	AA 1.0 随時整理・把握し、発注者側と調整しつつ迅速に対応していた。	○	○	○	○												
	指示、指摘への対応	○	○	○	AA 1.0 指示・指摘内容について担当者全員が理解し、的確かつ迅速に対応していた。	○	○	○	○												
計						100		100						100							
専門技術力 業務執行能力	目的と内容の理解	○	○	○	AA 1.0 担当者全員が目的・内容を理解・共有した上で、高い水準の業務計画書が作成された。	○	○	○	○												
	業務実施方針の設定	○	○	○	AA 1.0 新たな技術やニーズ等を踏まえ、発注者側の目的・目的に沿った具体的なかつ高い水準の実施方針が設定された。	○	○	○	○												
	情報収集能力	○	○	○	AA 1.0 着手時点から豊富な情報を有し、着手後も日常的かつ組織的な情報の整理・活用に努めていた。	○	○	○	○												
	打合せ、説明資料の品質	○	○	○	AA 1.0 高い品質に加え、発注者側の体制等を考慮して数多くの写真・グラフ等を使うなど非常に理解しやすい内容であった。	○	○	○	○												
	技術力の発揮	○	○	○	AA 1.0 担当者全員が高度な技術力を保持し、日常的に高い水準で発揮されていた。	○	○	○	○												
	計						100		100		100				100						
施工面の知識	施工に関する知識			△	AA 1.0 担当者全員が高度かつ幅広い知識を保持していた。	○	○	○	○												
	施工条件の整理・把握			△	AA 1.0 担当者全員が各種条件を十分理解し、随時活用できるような整理・把握されていた。	○	○	○	○												
	(基本または実施の設計段階に応じた) 施工計画、仮設計計画の検討			△	AA 1.0 担当者全員が技術的な知識に基づく高度な比較検討、提案を行うなど非常に高い水準で発揮されていた。	○	○	○	○												
	計						100		100					100							

採点項目	採点の視点	採点区分(注)1			採点度の係数	採点の基準	業務評定					技術者評定										
		一般調査	コンサルタント	設計			監督職員		検査職員			重み	管理技術者			検査技術者						
							配点①	配点②	配点③	配点④	配点⑤		配点⑥	配点⑦	配点⑧	配点⑨	重み					
コミュニケーション能力	説明力	的確かつ理解しやすい説明	打合せに際して、的確な説明を行い、相手の理解を得るよう努めていたか。	○	○	○	AA 1.0	担当者全員が、発注者側の体制を考慮した用語、図表等を使用するなど数多くの工夫をし、理解を得るよう努めていた。	○	○												
				A 0.8	担当者によって差があったが、随所に図表等を活用することにより理解を得るよう努めていた。	○	40	○	40			40										
				B 0.6	概ね理解を得るよう努めていた。	○		○														
				C 0.4	曖昧な説明をするなど説明努力が不足気味であった。	○		○														
	自己の説明を補う努力	相手の理解度に応じた説明手法などの工夫に努めていたか。	○	○	○	AA 1.0	担当者全員が相手の理解度に応じて説明手法を変えたり、事例を用いた補足説明を行うなど様々な工夫に努めていた。	○	○			一般1										
			A 0.8	担当者によって差があったが、総じて相手の理解度に応じた説明手法などの工夫に努めていた。	○	30	○	30			30						一般1					
			B 0.6	概ね理解度に応じた工夫に努めていた。	○		○															
			C 0.4	理解度に応じた工夫が不足気味であった。	○		○															
	円滑な業務遂行への努力	常に発注者側との情報共有、連携を確保するなど、円滑な業務遂行に努めていたか。	○	○	○	AA 1.0	担当者全員が「報告・連絡・相談」による情報共有、連携確保(電話等を含む。)を日常的に行うなど円滑な業務運営に努めていた。	○	○													
			A 0.8	担当者によって差があったが、ほぼ日常的に情報共有等を行うなど円滑な業務運営に努めていた。	○	30	○	30			30											
			B 0.6	概ね情報共有など円滑な業務運営に努めていた。	○		○															
			C 0.4	情報共有、連携の確保などが不足気味であった。	○		○															
計								100	100													
取組み姿勢	責任感の強さ	技術者(管理技術者、検査技術者、担当技術者)として、誠実さと責任感を持って取り組んでいたか。	○	○	○	AA 1.0	担当者全員が責任逃れの言動や曖昧な対応もなく、誠実さと責任感をもって取り組んでいた。	○	○													
			A 0.8	担当者によって差があったが、責任逃れの言動等がなく、責任感を持って取り組んでいた。	○	40	○	40			40											
			B 0.6	概ね誠実さと責任感を持って取り組んでいた。	○		○															
			C 0.4	責任逃れの言動や曖昧な対応が見られた。	○		○															
	積極性のあらわれ	指示・協議事項や疑義に関する再確認を的確に行うとともに、新たな提案を行うなど技術者の積極性があらわれていたか。	○	○	○	AA 1.0	関係者全員が再確認を迅速(翌作業日まで)に行うとともに、日常的に提案等を行うなど積極性があらわれていた。	○	○			一般1										
			A 0.8	担当者により差があったが、迅速(翌作業日まで)に再確認や提案等を行うなど積極性があらわれていた。	○	30	○	30			30											
			B 0.6	概ね速やか(2~3日以内)に再確認や提案を行うなど積極性があらわれていた。	○		○															
			C 0.4	確認が遅れるなど積極性が不足気味であった。	○		○															
	倫理観に基づく行動	契約条項に反する行為、資格・業務経歴等に関して、提出資料と異なる事実はなかったか。	○	○	○	AA 1.0	条項に反する行為や提出資料と異なる事実などはなかった(誤記等を除く。)	○	○													
			A 0.8	担当者によって差があったが、責任逃れの言動等がなく、責任感を持って取り組んでいた。	○	30	○	30			30											
			B 0.6	概ね倫理観を持って取り組んでいた。	○		○															
			C 0.4	条項に反する行為等があり、是正等の対応も遅かった(※1)。	○		○															
計								100	100													
成果物の品質	目的の達成度	設計図書の内容、業務執行段階における指示・協議事項に基づき、目的に沿った成果が得られたか。	○	○	○	AA 1.0	設計の考え方や指示・協議事項を十分理解し、当初の目的・期待を超える成果が得られた。	○	○													
			A 0.8	指示・協議事項等を理解し、当初の目的・期待どおりの成果が得られた。	○	30	○	30			30											
			B 0.6	概ね目的に沿った成果が得られた。	○		○															
			C 0.4	当初の成果の修正に時間を要するなど不足気味であった。	○		○															
	的確な取りまとめ	十分な現状把握等に基づき検討するとともに、その結果を的確にとりまとめていたか。	○	○	○	AA 1.0	十分な現状把握、新たな技術、適切なデータ等に基づく検討・工夫が随所に見られ、従来のものに比べて非常に高い水準で取りまとめられていた。	○	○													
			A 0.8	現状把握等に基づく検討・工夫が散見されるなど、従来のものに比べ高い水準で取りまとめられていた。	○	30	○	30			30											
			B 0.6	概ね的確に取りまとめられていた。	○		○															
			C 0.4	現状把握等や取りまとめが不足気味であった。	○		○															
	図面の出来映え	図面の内容、精度等が的確で、配置等も見やすいなど、良好な出来映えだったか。	△	△	○	AA 1.0	高い精度に加え、配置、表示方法等も創意工夫されるなど、従来のものに比べ非常に良好な出来映えであった。	○	○			一般20										
			A 0.8	十分な精度に加え、配置等も工夫するなど、従来のものに比べて良好な出来映えであった。	○	10	○	10			10											
			B 0.6	概ね良好な出来映えだった。	○		○															
			C 0.4	精度や工夫等が不足気味だった。	○		○															
理解しやすい報告書	調査等の考え方や作業の流れが的確に整理され、理解しやすい構成、内容の報告書が作成された。	○	○	○	AA 1.0	系統立てた内容に加え、有効な写真・図表の活用、要約版の作成など多くの配慮がされ、従来のものに比べて非常に高い水準の報告書が作成された。	○	○														
		A 0.8	理解しやすい構成、内容があり、従来のものに比べ良好な報告書が作成された。	○	10	○	10			10												
		B 0.6	概ね理解しやすい報告書が作成された。	○		○																
		C 0.4	構成、内容等が不足気味であった。	○		○																
ミスの有無	成果物に影響する重大なミスや、計算間違い・誤字・脱字等の軽微なミスがなかったか。	○	○	○	AA 1.0	極めて精度が高く、ミスがなかった。	○	○														
		A 0.8	精度が高く、軽微なミスも数ヶ所程度であった。	○		○																
		B 0.6	概ね軽微なミスのみで、修正も速やかに行われた。	○	20	○	20			20												
		C 0.2	軽微なミスのほか、重大なミス(放置すれば成果の活用に必要な支障等を生ずるもの)があった(※2)。	○		○																
計								100	100	100												
計								100	100	100												
合計							Σ(1)								Σ(2)			Σ(2)				
総合評定点																						

(注) 1.採点区分の「○」は必須科目、「△」は選択項目、網掛け欄は採点の対象外である。
2.測量作業の場合は「採点の視点」、「採点の基準」の「業務」と読み替える。